管端防食キャップ用止水プラグ
（ＧＸ形ダクタイル鋳鉄管用）

呼び径：７５～２５０mm

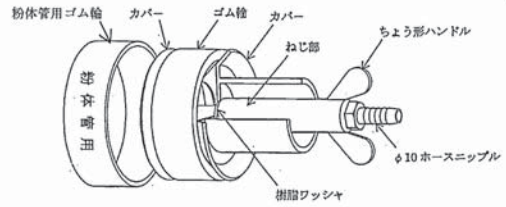
取　扱　説　明　書

この度は、止水プラグをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みのうえ、本製品を安全に正しくお使いください。

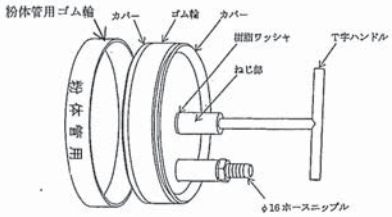
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が想定される内容を示しています。

止水プラグの概要

管端防食キャップ用止水プラグ（以下、止水プラグと呼ぶ）は、GX形ダクタイル鋳鉄管の切管端面に防食キャップを取り付ける際、管内からの流水で切管端面が濡れないようにして、接着性能を十分に発揮させることを目的とした工具です。



呼び径 75～150mm の形状



呼び径 200、250mm の形状

止水プラグは呼び径ごとに必要です。

⚠注意	管端防食キャップの施工以外には使用しないでください。 止水プラグを投げたり、たたくなど強い衝撃を与えないでください。 止水プラグが変形又は破損し使用できなくなります。

使用前の注意点と点検項目

1 施工前に、管内の上流側が止水されていることを確認してください。

⚠警告	止水されていないと、水圧により止水プラグが取り付けられなかったり、取り付けた止水プラグが外れたりして、けがをしたり機器破損の恐れがあります。

2 管内からの流水がある場合には、この止水プラグを使用して切管端面が濡れないようにし、乾いた状態で管端防食キャップを取り付けてください。

⚠注意	切管端面が濡れた状態で管端防食キャップを取り付けないでください。 接着性能が十分に発揮できず、管端防食キャップが外れる恐れがあります。

3 管内からの流水が多い場合は、止水プラグのホースから支障なく排水できる程度の水量に減少するまで待ってから、止水プラグを取り付けてください。

⚠警告	ホースから排水する量よりも流水量が多い場合、止水プラグが水圧により押し出され、けがをしたり機器破損の恐れがあります。また、管端防食キャップの取り付け作業ができない場合があります。

4 ハンドルの回転が異常に重い場合、またはゴム輪や粉体管用ゴム輪に傷や亀裂がある場合は使用しないでください。

5 ホースニップルには、付属のホースを接続し使用してください

施工時の注意点

1 止水プラグの使用方法は「GX形ダクタイル鉄管用管端防食キャップ施工要領書」日本ダクタイル鉄管協会を参照してください。また、管端防食キャップの取付手順は、同上の「施工要領書」または管端防食キャップ付属の「取扱説明書」を参照してください。

2 ホースニップルの先に接続したホースの先は、必ず開放してください。

⚠警告	ホースニップルの先に接続したホースの先は、密閉せず必ず開放してください。 水圧で止水プラグやホースが外れ、けがや機器破損の恐れがあります。

3 内面粉体管の場合は、粉体管用ゴム輪をゴム輪にかぶせてから使用してください。内面モルタルライニング管の場合は粉体管用ゴム輪を使用しないでください。

⚠注意	内面粉体管の場合は、必ず粉体管用ゴム輪をゴム輪にかぶせてから使用してください。 止水ができない恐れがあります。
	内面モルタルライニング管の場合は粉体管用ゴム輪を使用しないでください。 止水プラグを管内に挿入できなかったり、粉体管用ゴム輪が破損する恐れがあります。

4 ハンドルを回す際、工具を使用せず手の力だけで回してください。

⚠注意	ハンドルを回す際は、レンチやプライヤーなどの工具を使用しないでください。 ハンドルに過大な力が作用し、樹脂ワッシャやねじ部が変形・破損する恐れがあります。

5 使用中、ホースからの排水量が多い場合には、止水プラグを縮径させて取り外す際、残水により止水プラグが飛び出さないよう、止水プラグを支持させながらハンドルをゆっくり回してください。

⚠注意	ホースからの排水量が多い場合、止水プラグを縮径させると同時に、止水プラグと残水が急に飛び出す恐れがあります。

使用後の注意点

1 ご使用後は水分や汚れを十分に拭き取って乾燥させ、直射日光・高温多湿を避けて保管してください。

⚠注意	水分や汚れが残ったまま保管しないでください。また、直射日光・高温多湿を避けて冷暗所で保管してください。 変形・劣化し、正規の止水作業ができない恐れがあります。

2 点検の際はハンドルを緩めて分解し、樹脂ワッシャの両面とねじ部及びゴム輪とカバーの間に時々潤滑油を塗布してください。潤滑油はシリコン系を使用し、鉱物油系の潤滑油は使用しないでください。

⚠注意	樹脂ワッシャの両面とねじ部及びゴム輪とカバーの間に時々潤滑油を塗布してください。 樹脂ワッシャやねじ部、ゴム輪が変形・劣化し、動作不良や止水不良につながる恐れがあります。

3 ご使用後はハンドルを十分戻してゴム輪が張られていない状態まで縮径して保管してください。

⚠注意	ゴム輪を拡径したまま保管しないでください。 ゴム輪が変形・劣化し、破損や止水不良につながる恐れがあります。

販売元
株式会社クボテック
〒103-0021
東京都中央区日本橋本石町 3-3-10
TEL(03)3245-3791　FAX(03)3245-3792

製造元
コスモ工機株式会社
本社／〒105-0003 東京都港区西新橋 3-9-5
TEL(03)3435-8805(代)　FAX(03)3435-8825